

## 關上地区まちづくり協議会 世話役会(5) 議事録

日時	平成26年5月27日(火) 18:30~20:50
場所	名取市復興区画整理課会議室(仙台法務局名取出張所2階)
出席者	世話役:(代表)針生勉、(副代表)阿部ひで、(副代表)今野義正、宇佐美久夫、今野慎介、鈴木政義、沼田智幸、木皿裕司、(事務局長)南部比呂志 (事務局)コンサルタント5名 会員:(監査)阿部隆
オブザーバー	名取市職員5名
議題	0. 議事録の確認 1. 情報発信について 2. 意見取りまとめ(ビジョン)について 3. その他
資料	資料-0 議事次第、第4回世話役会議事録(案) 資料-1 ニュースレター(案) 資料-2 おらほのまちづくり提案書(案) 資料-3 ビジョン意見とりまとめ

### ○ 協議要旨

#### 0. 議事録の確認について

- ・議事録の要旨だけでなく、主な意見を掲載して公開する。
- ・第4回世話役会議事録(案)の一部を修正して、議事録とした。

#### 1. 情報発信について

- ・ニュースレターは、代表修正案を基本に写真や文章表現を修正し、6月頭の発行に向け代表・事務局で最終判断する。
- ・ホームページは、仮サイトをニュースレターに準じて修正して公開する。正式サイトのオープン(6月中旬頃)までは議事録アップを見送る。
- ・会員候補者へのお知らせは、6月頭の発送に向け、送付文、届出書、ニュースレター、総会議事録・資料(規約、役員、経緯説明)を封入する。封入が完了したのち、名取市に宛名ラベル貼付・発送を依頼する。
- ・提案書は、○印をつける項目を増やし、記述する欄は自由に書けるように修正する。記入例を世話役等が手書きで作成し、提案箱の近くに掲示する。
- ・提案箱の設置は、提案箱の趣旨を掲示して、市民ロビー1階、法務局1階、上町集会所の3箇所の設置に向け準備する。順次、仮設集会所等への設置も検討する。

#### 2. 意見とりまとめ(ビジョン)について

- ・ビジョンの大きな柱を少なくとも3本たてる。“海・水”“ひと”“まち”というような方向性で検討していく。
- ・次回、震災前の生活を振り返り、その良さを表現する言葉を各自で検討してくる。

次回予定:世話役会(6) 6/2(月)18:30~ 名取市復興区画整理課会議室

## 以下、世話役会の主な意見について記載する。

会議を進めるにあたり、議長を事務局長の南部氏に選任した。

### 0. 議事録の確認

- ・第4回世話役会議事録について確認。
  - 終了時間を 20:45 と追記する。
  - 情報発信の“おらほの閑上を。みんなで一緒に”は、“まち”が抜けているので追記する。
- ・議事録が細かすぎるので、公開するのであれば一部削除してもいいのではないか。
  - 議事録の公開は、細かければ経緯がよくわかり、見た人の誤解を防ぐことにつながるだろう。
  - オープンでやっているのだから、細かくても反応があった方が良好だろう。
  - 細かい方がいいという意見が多いので、細かい意見交換を公開していく。

### 1. 情報発信について

#### 資料-1 ニュースレター(案)

- ・ニュースレターについて、事務局から説明。事務局案と、事前にいただいた代表修正案を提示。
- ・代表修正案は、協議会の決意表明的な文章を追加した。これから何をやろうとしているか、決まったことや検討していることを記載した。

(内容)

- 文章表現の中、「移動会議」で世話役が出掛けるというよりは、住民に「部会」などに参加してもらうスタンスの方が良好だろう。基本は人を呼ぶことである。
- 「移動会議」は、あくまでも検討したことの報告が基本だろう。
- 今までの意見をとりまとめて、それだけでは足りないのだから「部会」で意見を取り込み、それらをひとまとめにして、市に提案していく流れが基本。
- 手をかけていることや事務局など入れて、協議会の姿かたちが見えはじめていることを伝える。
- 「部会」での検討がメインで、世話役会も参加可能。“意見を求めている”と伝わるのが重要。
- 閑上に戻ろうとしている人にとって分かりやすい方法は、意見に対してその経過を提示することが重要である。複数の提案をして、1つ2つでも市の計画に位置づけられる実績ができると、とても分かりやすいだろう。話し合いの流れと成果を示すべき。
- 世話役会、部会、移動会議へ参加可能であること、毎週火曜日に世話役を行っていることを示す。
- 設立総会の議事録、規約・役員など、記載することは可能か。
- 同封する予定なので必要ないだろう。字が小さくなり誰も読まなくなってしまう。

(形式・大きさ)

- 新聞の形式が読みやすい。縦文字の方がいいのではないか。ニュースレターという名前はいいが、横文字はやや読みづらい。
- 今、発行されている『閑上復興だより』『復興だより(名取市)』については、ほぼ同じ形式で縦文字である。それらとの差別化を図っていく必要があるのではないか。
- 【名取市『復興だより』担当】読者はお年寄りが多いと思うので、字を大きくして、縦文字の方が良いが、確かに差別化する工夫は重要だろう。
- わかりやすく、内容を箇条書きにすると伝えやすい。今やっていることを端的に伝えることが重要ではないか。読者に興味を持たせる形が望ましい。
- A4一枚だが、ボリューム感はどうか。A3両面くらいあってもいいが内容がまだない。
- ボリューム感はこの程度がよい。字の大きさもよみやすい。
- 手書きフォントはよい。縦、横の配置で、大事なところを読みやすくすべき。

- 今後、レイアウトを変更しながら発行していく。
- 修正案をベースに修正を行い、代表・事務局一任で発行準備に入るとする。
- ・ホームページについて、事務局から説明、準備世話役会ブログへのリンクを設定し、メールアドレスをクリックするとメーラーが立ち上がるようになっている。
  - 設立総会の写真を、人が多く写っているものに差し替えできないか。
  - 議事録や資料のPDFアップについて、6月中旬に公式サイトがオープンしてから対応する。
- ・届出書送付の同時送付物を確認したい。総会資料、規約、ニュースレターを入れるかどうか。
  - ニュースレターは入れる。
  - 固定電話が追加された場合、封筒にはハンコで追記する。
  - いつ発送できるのか。
  - 今月中にニュースレターを完成させ、6月頭に発送できるよう準備する。封入が完了したら、市へ宛名ラベル貼付・発送を依頼する。

#### 資料-2 おらほのまちづくり提案書(案)

- 氏名、住所の記入欄が狭いので広げる。
- 記載例については、別紙で設置場所に掲示しておくのがいいだろう。手書きだとなおいい。
- 内容は分けせず、自由に書いてもらったほうがよいのではないか。
- 項目は「公園、」だけでなく、もっと色んな単語を並べた方がいいだろう。
- 例えば、学校、買い物、医療、交通機関などの言葉を追加するのはどうか。
- ・提案箱は、どこにどんな形で配置して、誰がいつ回収するのか。
  - 提案書の趣旨を提案箱の設置場所に掲示する。
  - これまでの経緯や今やっていることなども掲示するのがいいだろう。
  - 掲示板と記帳できる長机を設置するのが基本だろう。鍵付きのポストをすると良いだろう。
  - まずは市役所のロビーが良いだろう。
  - 法務局の1階ロビーにも設置したらよいのでは。あと上町のまちカフェに置いたらどうか。
  - 市が準備したよう勘違いされないように、協議会が借りていることが伝わるように設置すべき。
  - 反応を見ながら、徐々に仮設集会所等にも設置場所を増やしていく。
  - 出た意見を整理して掲示して、収集しているということが伝わるといいだろう。
  - 設置場所もニュースレターに記載する。
  - まずは3つ購入し、市役所ロビーに設置する。

### 3. 意見とりまとめ(ビジョン)について

#### 資料-3 ビジョン意見とりまとめ

- ・“これまで”のページ①と、“これから”のページ②に分けた。震災前について記述が少なかった。

#### ＜意見を元に震災前の閉上・あって欲しいまちについて意見交換を行った＞

(コミュニティ)

- 震災前はコミュニティがあったが、現在バラバラである。閉上に戻ったときにどのようなコミュニティになるのか。
- 山元町では、震災後6地区あった地域が3地区に集約され、市主導で進められた。全住民に名刺を渡したり、役の持ち回りを早くするなど、顔見知りになる工夫をしていた。災害公営住宅では、ブロック単位でのコミュニティ形成のために人が集える場の提供されている。
- 仙台市若林区には大型の災害公営住宅ができたが、既存町内会が主導して歓迎イベントを企画している。今後、荒井地区でも実施する方向で、公民館・市民センターなどを活用する。
- 高齢の方が住宅にこもらない、配置の工夫、高齢者の見守りを工夫し他整備などを山元町なども取り入れている。閉上も見守りができるように、そうした工夫を検討すべき。

- 都会では小さな親切大きなお世話だが、閑上なら小さな親切は小さな親切となる雰囲気。
- 鍵は閉めない。周りに人がいて、互いに気を使っている。
- コミュニティは横の世代とするが、世代を超えた縦のコミュニティ形成ができるよう、子どもが放課後に集まれるような工夫が必要。
- 人が集まる施設は集会所というより「みんなの家」、寺社などの自由な交流空間のような場所。
- コミュニティレストラン(NPO 運営)で、食を介した多世代の交流空間という事例もある
- 規則に縛られない自由な場所。高齢社会で、世代間の交流をどのようにしていくのかが重要。

(大きな柱)

- 閑上の昔の雰囲気に戻るのか、その本質はなんだったのか。
- 「地域での見守り」「人とのつながりが強い、濃い」という点が見られる。
- 大きな柱は、3つくらいは必要ではないか。
- 四季を通じて海を楽しむという表現はよい。
- 助け合いのまちであったとは思う。閉鎖的でもある。
- 歴史がある。積み重ねによるまちのなりたち
- 海をなりわいにする。海浜パーク、海を楽しみ稼ぐ。
- 水産加工業、朝市の集積がある。
- 閑上という名前はインパクトがある。読み方も漢字もインパクトはある。
- 閑上と言う名前のブランド化が必要。
- アカガイはコミックが発端に有名になった。広浦はカレイ、前はカニ。
- 仙台市民にとっては、閑上の人たちの視線が怖かった
- 言葉が荒いのも特徴。閑上独特な方言がある。
- 海だけでないので、水ではないか。
- 古きよき閑上の一言で言ったらなにか、エピソードも一緒にできるとよい。
- 次回までに、今までを振り返り、どんな良さがあったかを表現できる言葉を各自で検討する。

#### 4. その他

・【会員】ニュースレターは個人的には縦書きが良い。県の広報誌のような横書きは読みづらい。縦と横が混在するのは少し戸惑うが良いと思う。

- 震災前の住み良さランキングで、閑上は全国25位、東北で1位だった。
- 総会出席者が少なかったので、美田園第一仮設の人たちに聞いたら足が無い声が多かった。今後は交通手段に配慮して欲しい。その他、色々な意見をいただいた。
  - ◇ 子供に気を使って出席できなかった。
  - ◇ 個人の将来に不安があり、まちづくりに参画できない。
  - ◇ 家族で意見が合わないとの意見もある。
  - ◇ 生活利便施設の立地を必要としている。
  - ◇ 知り合いの人と隣りあわせで暮らしたい。

以上